

酷暑時代の「水分補給システム」を社会実装する 『リフィル・サーキュラープロジェクト』 をスタートします！

横浜市は、2027年3月19日から横浜・旧上瀬谷通信施設で開催する横浜グリーンエキスポにおいて、環境負荷低減と来場者の健康・利便性向上、リフィル文化の普及を両立する産学官民連携の取組として、「リフィル・サーキュラープロジェクト」を公益社団法人 2027年国際園芸博覧会協会（以下「協会」）と共に始動します。

暑さ指数WBGTを活用した暑熱対策、マイボトル利用促進、横浜の水の活用等を一体化し、産学官民で“横浜モデル”の構築を目指します。

横浜グリーンエキスポを契機とした実践的なアクションを通じて、持続可能でグリーンな都市の実現につなげていきます。

プロジェクトの概要

本プロジェクトは、会場内の暑さ指数WBGT計測結果を踏まえた箇所に給水スポットを整備し、マイボトル利用や粉末・スティック飲料の活用、デジタルサイネージ等による情報発信を組み合わせることで、環境負荷低減と来場者の健康・利便性向上、リフィル文化の普及を両立する“横浜モデル”の構築を目指します。

単にペットボトルや使い捨てプラスチック容器の使用を抑制するのではなく、来場者一人ひとりが自ら水をくみ、飲み、持ち歩く行動を、健康・環境・水資源への前向きな参加として可視化していきます。

プロジェクトのポイント

1 酷暑時代の大規模イベント運営に向けた「科学的暑熱対策」

日本ヒートアイランド学会及び国立環境研究所気候変動適応センターとの連携により、会場内の暑熱環境を把握し、暑さ指数WBGTを踏まえた給水案内、スタッフ対応を連動させる仕組みの構築を検討するとともに、その成果を会場で展開します。

本プロジェクトでは、会場運営における暑熱対策を、経験則だけに頼らず、データに基づいて判断・実行する体制づくりを進めます。

2 「削減」ではなく「参加」と「貢献」を可視化するリフィル文化の提案

マイボトルを持参し、会場で給水し、必要に応じて粉末・スティック飲料等を活用する行動を、前向きな参加として促進します。

そのため、従来の「削減量」だけに着目するのではなく、マイボトル利用、CO2排出回避への貢献などを可視化する新たなKPIを設定し、来場者・企業・行政がともに参加できる共創型の環境アクションとして展開します。

裏面あり



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



3 飲料・容器・水道・暑熱対策が共存する「オール・インダストリー・モデル」

水道インフラ、マイボトル、飲食店などでの飲料提供、粉末・スティック飲料、暑熱対策製品、デジタル案内を組み合わせることで、飲料・容器・水道・環境・健康の各分野が共存する新しい大規模イベント運営モデルを目指します。

飲料を「運ぶ」だけでなく、会場で「くむ」「補給する」体験へと広げることで、物流負荷の低減、来場者の健康行動の促進、横浜の水資源の価値発信を一体的に進めます。

プロジェクトの全体像

<暑熱対策・健康支援>

- ・日本ヒートアイランド学会：微気象分析により暑さ指数WBGTを指標とした暑熱環境評価を実施し、暑熱対策に関する学術的知見を提供
- ・味の素AGF株式会社：マイボトル向けスティック飲料等を活用した、日常的な水分・ミネラル補給の促進
- ・国立環境研究所気候変動適応センター：WBGT計測器の提供、暑熱対策に関する学術的知見の提供及び成果のA-PLATを通じた発信

<水資源の活用・リフィル文化>

- ・株式会社OSGコーポレーション、ウォータースタンド株式会社、水道関連事業者：会場の給水スポットの整備・運用協力
- ・横浜市・水道関連事業者：横浜の水を活用したリフィル体験の提供、水インフラの価値発信、マイボトル利用の加速

<脱炭素・循環型運営>

- ・象印マホービン株式会社：スタッフ、ボランティアへのステンレスボトル提供及びマイボトルの快適な利用環境をサポート

今後のロードマップ

時期	主な取組
2026年6月	プロジェクト始動、参画パートナーとの共創体制の構築。
2026年6～7月	給水スポット配置計画、KPI設計、運用体制の検討。
2026年8月	酷暑期プレ実証を実施予定。暑さ指数WBGT計測、給水案内、運営連動の検証を想定。
2026年9月以降	運用マニュアル、スタッフ対応、来場者案内等の具体化。
2027年3月19日	横浜グリーンエクスポ開幕。本番運用開始

次頁あり



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



(参考) 参画パートナー

味の素AGF株式会社、象印マホービン株式会社、株式会社OSGコーポレーション、ウォータースタンド株式会社、株式会社クボタ、株式会社栗本鐵工所、コスモ工機株式会社、大成機工株式会社、月島JFEアクアソリューション株式会社・月島ジェイテクノメンテサービス株式会社 共同企業体、株式会社デック、東京ガスエンジニアリングソリューションズ株式会社、メタウォーター株式会社（水道関連事業者のみ五十音順）

(参考) 学術連携

日本ヒートアイランド学会、国立環境研究所気候変動適応センター

(参考) 2027年国際園芸博覧会「GREEN×EXPO 2027」の概要

開催期間 : 2027年3月19日(金)～2027年9月26日(日)
テーマ : 幸せを創る明日の風景 ～Scenery of the Future for Happiness～
博覧会区域 : 約100ha(内、会場区域80ha)
クラス : A1(最上位)クラス(AIPH承認+BIE認定)
参加者数 : 1500万人(有料来場者数:1,000万人以上)



公式マスコットキャラクター
「トゥンクトゥンク」

©Expo 2027

お問合せ先

(横浜グリーンエクスポに関すること) 脱炭素・GREEN×EXPO 推進局 GREEN×EXPO 推進課長 滝澤	Tel : 045-671-3786
(脱炭素に関すること) 脱炭素・GREEN×EXPO 推進局 脱炭素マネジメント課長 大屋	Tel : 045-671-2683
(マイボトルに関すること) 資源循環局 資源循環推進課担当課長 松藤	Tel : 045-671-2537
(給水スポットに関すること) 水道局 給水維持課長 板谷	Tel : 045-671-3067



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

